

管理技術者の資格及び実績
(弓削商船高専図書館棟等改修その他工事監理業務)

1 資格等

| | |
|-------|-------------------------|
| 氏名 | |
| 所属・役職 | 設計事務所 |
| 保有資格等 | (登録番号:) (取得年月日: 年 月 日) |

同種業務の実績

| 業務名等 | 業務内容等 | 規模等 |
|------|---|---|
| | <p>内容</p> <p>・平成19年度以降に、完成・引渡しが完了した、次に掲げる基準を満たす建築物の実施設計業務又は工事監理業務のいずれかを元請として行った実績を有すること。</p> <p>鉄筋コンクリート造又は鉄筋鉄骨コンクリート造かつ900㎡以上の公共建築物の新築又は改修工事</p> <p>発注者:</p> <p>履行期間: 平成・令和 年 月 日～ 平成・令和 年 月 日</p> <p>受注形態等: 単体/ 設計共同体 (出資比率 %)</p> <p>※該当するものに○をつけ、設計共同体の場合は出資比率を記載すること</p> | <p>・建物用途:</p> <p>・対象工事の建築物の完成日 平成・令和 年 月 日</p> <p>・対象工事件名</p> <p>・対象工事の発注者及び受注者 発注者: 受注者:</p> |

立
場

業務種類: ・実施設計 ・工事監理

担当分野 (分担業務実施方式の設計共同体の場合のみ記載):

具体的役割 (分担業務実施方式の設計共同体の場合のみ記載):

PUBDIS登録 ・有 ・無 (登録コード)

- ※1 提出者の会社等に所属する者とする。
- ※2 資格を有することを証明できる書類、一級建築士の資格を有する者で建築士法第22条の2に定める期間内に同条に定める定期講習を受講したことを証明する書類 (定期講習修了証の写し等。なお、建築士法施行規則第17条の37第1項1 一級建築士定期講習の項イ (同条第2項及び第3項において準用する場合を含む。)) に該当する場合は建築士試験の合格を証明する書類 (合格証書の写し等))、及び当該技術者が従事したことが判断できる資料を添付すること。
- ※3 実績については、平成17年度以降かつ申請書及び資料の提出期限の日までに対象工事の建築物が完成・引渡し完了した業務に限り記載すること。
- また、実績として記載した業務については契約書の写し、平面図、構造図等記載内容を証明できる資料及び当該技術者が従事したことが判断できる資料を添付すること。ただし、当該業務が(一社)公共建築協会の「公共建築設計者情報システム (PUBDIS)」に登録されている場合は、PUBDISの写しを提出し、契約書の写しは提出する必要はない。

